

## 【テーマ】 公益財団法人 日本人事試験研究センター

「教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業（各自治体が実施する教員採用選考試験の試験問題の分析及びモデル問題の作成）」

## 調査の概要

## ◆現状

・各教育委員会がそれぞれ教員採用試験問題を作成しており、負担軽減が求められている状況。その際、単なる知識再生型ではない、教師に求められる資質能力をより効果的に評価できる問題への改善が期待されている。

## ◆課題認識

・第一次選考の全国共同実施の実現に向けて、思考力・判断力・表現力等を問う質の高いモデル問題の作成が急務である。

## ◆調査研究の目的

・各教育委員会が実施する第一次選考の全国共同実施において使用することを想定した質の高いモデル問題を作問・提供する。

## ◆調査研究の方法

・各教育委員会で実施されている職員採用試験問題を分析しつつ、作成教科ごとに専門分野の研究者および外部委員からなる問題作成委員会を設置して問題を作成するとともに、文部科学省・各教育委員会のアドバイスをもらいながらモデル問題を完成させる。

## 取組のポイント・成果

## ◆取組のポイント

## ・「思考力・判断力・表現力等」を問う問題

単なる知識再生型ではなく、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた質の高い問題を作成するとともに、その際、学習を指導する過程を意識した場面設定も重視した。

## ・適切な難易度設定と形式の担保

小学校、中学校・高校、特別支援教育の指定された教科ごとに、マークシートによる択一式問題として、難易度（相対的に高い/低い）や分野（共通/選択）を考慮した形式で作成した。

## ・長年のノウハウの活用

過去50年にわたる公務員採用試験問題作成のノウハウを活用し、正答率が高すぎることなく、能力判定に適切な得点分布となるよう調整した。

## ◆成果

・文部科学省および各関係者との協議を通じたアドバイスや修正意見を反映し、全国共同実施のモデル問題としてふさわしいものを完成させた。

## 今後の課題

・本事業は全国共同実施の筆記試験（マークシート方式）を前提としたが、今後のニーズの変化に伴い、将来のCBT化を見据えた問題形式や問題内容の提案、ならびに教員採用試験問題としてより効果的な選抜が可能となる問題の工夫等のさらなる検討が必要と考えられる。